

(様式3)

事業所名 グループホームえがお

作成日:平成27年11月11日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	職員が禁止の対象となる具体的な身体拘束行為を正しく理解する努力を自ら行うことを目的に、身体拘束廃止委員会を設置しているが、その都度のケース対応のみにとどまっている。身体拘束についての職員の理解を深めるための定期的な研修の実施は実現していない。	全職員が身体拘束についての研修を通して理解を深め、身体拘束のないケアの実践。	職員で構成する職員会議及び身体拘束委員会に諮りながら、おおむね6か月に1回程度の職員研修を行なう。	6か月
2	7	虐待の防止には日々努めているが、職員間において虐待に対する理解度に僅かな差がある。定期的な研修は実施していない。	身体拘束と同様に、全職員が虐待に関しての共通認識をもった虐待防止を目指すために、定期的な研修を実施する。	身体拘束と併せておおむね6か月に1回程度の職員研修を行なう。	6か月
3	24	居宅担当職員も日頃のご利用者とのやりとりで得られた以前の生活の様子をアセスメントシートに記入する。	日頃のやりとりで得た情報をセンター方式のアセスメントシートにこれまでの暮らしの情報に記入する。	センター方式の一部を用い本人との日々の会話やご家族、知人の面会時に話をきく。	12か月
4	26	毎日モニタリングを行っているが、計画の実施状況の評価内容があいまいなところがある。	モニタリング用紙をわかりやすいものに変える。	計画作成担当者と担当職員が中心となり、本人・家族の意向を確認するとともにモニタリング用紙を改善して介護計画を作成する。毎月の職員会議で内容を検討し、周知する。	12か月